

浄願寺だより

H26冬No.1

遠方にお住まいのご門徒さんから、定期的にお寺の近況を聞かせてほしい、とのご要望があり、このたび「浄願寺だより」としてお寺をとりまく身近な出来事を取りまとめお知らせしようと思います。夏冬二回の発行を予定しています。

平成二十六年一月一八日発行

編集責任者

浄願寺住職 関秀法

元旦修正会挨拶

住職 関秀法

昨年は福知山にとって受難の年でした。八月には花火大会の事故があり、また台風の影響で起きた洪水は戸田や大江に大きな被害をもたらしました。繰り返しテレビに映し出される故郷の姿に、ふだん他人事のように受け流している事件や事故や災害のニュースが、実は私たちの身にいつでも起こりうることであり、私たちの平穏な生活がいかに不安定な危ういものの上に成り立っているのかということあらためて実感させられました。

仏教をお開きになられたお釈迦様は、毎日のように人の苦しみや悲しみを見聞きしながら、それをなかなか自分の事とは受け止める事のできない私たちを、「三頭の馬」に喩えていらつしやいます。

三頭のうちで一番かしの馬は、遠くで鞭の音がしただけで走り出す。二番目にかしの馬は、自分の体が鞭で打たれるやいなや走り出す。一番愚かな馬は、鞭が皮を裂き、骨肉に達し

ても、ただ嘆きいなくなればかりで、一向に走り出そうとはしないのだ、と。私たちの中にも、テレビや新聞で人が怪我をしたり亡くなったたりしたニュースを聞いただけで、これまでの生き方を改め、道を求めて歩き出す人もいらつしやいます。身内に何かあてはじめて自分の行く末を真剣に考えはじめる人もいらつしやるでしょう。

しかし、残念なことに、私たちの多くは、自らが老いを迎え、病を受けようになつてもなお、「自分だけは」という自我のとらわれから逃れようとせず、不平や怒りの中で、人生の大切な時間を無為に過ごすしてしまっているという事がないでしょうか。

皆さん、今年は馬年です。是非ともこの新年最初のお念仏を善き合図として、私たちが真剣に道を求めて走り出す契機としていただけたらと思います。

今年もいろいろお世話になります。がなにとぞ宜しくお願い致します。

平成二十六年元旦

代表総代に

足立喜太男氏

昨年十二月の総代会において、長年代表総代を務めていただいた竹下孟朗氏が代表引退を表明され、後任に足立喜太男氏が選出されました。

孟朗氏は平成十九年に代表総代に就任され、京都教区総代会幹事の重責を任せられ、親鸞聖人七五〇回大遠忌の大事業の遂行に、尽力くださいました。また、昨年は住職継職法要の実行委員長として奔走し、継職法要と、それに伴う境内整備事業を成功に導いてくださいました。

孟朗氏は八〇代も後半に差し掛かれたとはいえ、私たちから見ると、まだまだお元気で、その気力、迫力はまったく衰えてはいらつしやいません。しかし、ご本人の退任の意思固く、このたび二年の任期を残して代表総代の任を降りられることとなりました。

後任の代表総代には下篠尾の足立喜太男氏が全会一致で選任されました。

喜太男氏は長年役員総代として、浄願寺の運営を支えてこられ、その誠実な人柄は多くの人望を集めておられます。これから足立喜太男氏による新体制のもと、浄願寺の益々の護持発展に努力してまいります。

就任のご挨拶

代表総代 足立喜太男

新年度の初めに際し、代表総代の竹下孟朗様より、高齢および健康上、任期途中ながら総代辞任の申し出があり、総代会において協議したところ、任期満了まで役員総代として勤めていただき、代表総代を交代していただくという事で了承を得、総代互選により、私が後任代表の推挙をうけ、一月一八日の総会に於いて就任いたしました。

元よりそのような器ではない事は十分承知致しておりますが、残任期間（二年）ということでお受け致しました。

総代様、ご門徒様の格別のご指導、ご支援をお願い申しあげまして就任のご挨拶とさせていただきます。

（裏面に竹下孟朗氏挨拶）

退任のご挨拶

竹下孟朗

平成二十六年新春をご門徒の皆様お揃いで、お迎えになつた事とお察し申し上げ、お慶び申し上げます。

一昨年の宗祖親鸞聖人様の七百五十回大遠忌法要、浄願寺住職の継職法要と、大きな事業が続き、ご門徒の皆様に変なご協力を戴き無事、盛大裏に終了したこと、すべて皆様のおかげと感謝致しております。浅学な私が大役をけがしましたが、ご指導があつてこそ達成出来たと厚く御礼申し上げます。

宗教を取り巻く状況は大変な時代

になるであろうと察します。しかし、新しい住職を中心にご門徒が一つになつて力を合わせたら大丈夫だと感じています。

長い間重席をけがし、大変お世話になつた事を心から御礼申し上げます。

合掌



孟朗氏寄贈の扁額

浄願寺だよりはインターネットでもご覧になれます。
浄願寺ホームページ
<http://www.jyouganji.com>

お寺の掲示板より

朝は 希望に起き、
昼は 努力に生き、
夜は 感謝に眠る

字・関秀實

門徒の広場

門徒の広場欄は
WEB版ではご覧になれません

浄願寺

永代供養墓

お墓の管理や、後継者に不安をお持ちの方へ。
永代供養墓への埋葬・改葬も選択肢の一つです。

浄願寺永代供養墓は車道に面してお参りのしやすいお墓です。
詳しくは浄願寺ホームページか住職までおたずねください。

編集後記

皆さんに助けられながら、住職になつて半年が過ぎました。半年の間にも多くの出会いと、別れがありました。
私はお寺に入ってからよく笑い、よく泣くようになつた気がします。

お寺は私たち現代人が人間らしくいられる残り少ない場所なのかもしれません。

「浄願寺だより」を通じて、そんなお寺の空気を少しでも届ける事が出来たらと思います。

住職

浄土真宗本願寺派
笹尾山浄願寺

〒620-0925
福知山市上篠尾725
電話(0773)-22-5280
email jyouganjiweb@gmail.com
<http://www.jyouganji.com>

住職 関 秀法